

未来を生きる子どもたちへのメッセージ ⑳

『領事館プロジェクトについて』

今月の言葉 『本心 本気 本腰 本の字がつくものはいい』（相田みつを）

津島市の小学校の国際交流活動には大きな特徴があります。それは名古屋にある領事館を窓口とした活動を行っていることです。これは津島市全体で進めている国際交流活動の一つとして行われてきました。

日頃、中々お会いできない領事館の領事さんや書記官さん、領事館サポーターの方々に来て頂き、講演会やそれぞれの国で行われている学校の授業、料理教室を行って頂いています。すでに平成27年度から始まり、28年度・29年度には韓国の現地校の子どもたちや先生方が津島の小学校を訪問してくれました。韓日の授業を一緒に受け、ダンスや音楽の交歓会もしました。先生方は校長室で話し合いの機会をもちました。

残念な事にコロナの感染が広がってからは、十分な交流活動ができない数年間が過ぎました。それでも講演会を続けた学校もありました。コロナの感染はゼロにはなりません、これからはウィズコロナの数年が続きそうです。令和4・5年度は、東小がペルー、西小がブラジル、南小がフィリピン、北小が韓国、神守小がカナダ、蛭間小がトルコ、高台寺小が中国、神島田小がアメリカを担当することになりました。

中日新聞「尾張近郊総合版」に『なごやか外交』という連載記事（週に一回程度）が載っています。この記事は名古屋にある領事館の皆さんの近況を伝えるコラムとなっています。最近の記事の内容を紹介してみましよう。

ペルー領事館 「お気に入りの場所、名古屋城、鶴舞公園、城の美しさ」

ブラジル領事館 「世界ポルトガル語デー、ポルトガル語を広める」

フィリピン領事館 「フィリピンの大統領選挙、在外選挙」

韓国領事館 「五条川の桜見物、ジブリパーク、愛知県を知ってもらう」

カナダ領事館 「自転車通勤、カナダの自転車ネットワーク、健康安全」

トルコ領事館 「日本の料亭、桜、イスタンブールの花見」

中国領事館 「東京オリンピック、北京オリンピック、杭州アジア大会」

アメリカ領事館 「改善（カイゼン）、和包丁。ものづくり日本」

コラムの内容をならべてみました。これだけでもそれぞれの国との国際交流になるように思います。これからの交流活動は対面だけでなく、タブレットも活用し、さらにDVDによるビデオレターを行い、図画工作や習字の作品交流も積極的に進めてほしいと思います。お互いの違いを認め合い、お互いを尊重する国際交流を進めていきたいと思っています。

令和4年6月10日
津島市教育委員会
教育長 浅井厚視